

## (仮称) 食品工業経営戦略セミナー(案) について

### 1 目的

- ・本道の豊かな農林水産資源を背景とした食品工業は、全道の製造品出荷額等の約4割を占めており、地域の経済や雇用の受け皿として、大きな役割を果たしている。
- ・一方、人口減少、少子高齢化社会を迎え、国内市場が成熟化する中で、食品に関する安全・安心や健康志向への関心の高まりなど、消費者ニーズがますます多様化しているほか、経済のグローバル化の進展に伴って、輸入食品の増加や新商品・新技術開発の活性化が進んでおり、コスト競争もますます激化している。
- ・このような状況の中、本道の食品工業の活性化を図るためには、前述のような食品工業を取り巻く環境の変化に的確に対応した、付加価値の高い売れる商品づくりに積極的にとりくむことが課題となっている。
- ・このため、今回、経営者・経営幹部の方々を対象に経営戦略セミナーを開催し、農商工連携など地域の資源を活用した付加価値の高い製品開発等の取組を推進する。

### 2 対象

- ・食品工業の経営者・経営幹部の方

### 3 研修修了後の受講者の姿

付加価値の高い新たな食品作りに取り組むことの必要性を認識したうえで、地域の資源を活用した食品を開発し、販売していくまでの一連の手順を理解する。

### 4 研修の概要

- 1) 食品工業の現状・課題の解説
- 2) 活用可能な支援制度の解説
- 3) 地域の食材を活用したビジネスを成功させるポイント
- 4) 地域の食材を活用した食品開発の進め方
- 5) 地域の食材を活用した食品の販路開拓の進め方
- 6) 事例研究(事例企業の発表+講師による解説)
- 7) 演習(自社の商品開発・販売促進計画の立案)

### 5 具体的なカリキュラム例

- 案1 1日コース(6.5時間)
- 案2 2日連続コース(13時間)
- 案3 2時間×5回コース(インターバル。合計10時間。)  
(1週間に1回とするならば、1回目から4回目までは連続が望ましい)

### 6 想定財源

- ・「どさんこ塾」人づくり推進事業(道事業)の活用  
(※ただし地域における研修ニーズの有無に依る)

#### 「どさんこ塾」人づくり推進事業…

地域経済の自立的・継続的な発展を促進するため、地域を支える産業を担うチームリーダー・従業員等の人材を対象に、各地域の実情やニーズに応じた、きめ細やかなオーダーメイド型の研修を行うことにより、地場企業の人材育成を支援する。

## カリキュラム例

### 案1 1日コース (6.5時間) (自社の計画策定演習はなし)

内容	時間	備考
<b>午前中</b>		
①食品工業の現状・課題の解説	1時間	
②活用可能な支援制度の解説	0.5時間	
③地域の食材を活用したビジネスを成功させるポイント	1.5時間	
<b>午後</b>		
④地域の食材を活用した食品開発の進め方	1.5時間	
⑤地域の食材を活用した食品の販路開拓の進め方	1時間	
⑥事例研究	1時間	発表 45分＋解説・質疑 15分

### 案2 2日連続コース (13時間)

#### 1日目

内容	時間	備考
<b>午前中</b> ~取組の必要性の喚起・取組の全体像の解説~		
①食品工業の現状・課題の解説	1時間	
②活用可能な支援制度の解説	0.5時間	
③地域の食材を活用したビジネスを成功させるポイント	1.5時間	
<b>午後</b> ~具体的な開発から販売までの手法の解説~		
④地域の食材を活用した食品開発の進め方	1.5時間	
⑤地域の食材を活用した食品の販路開拓の進め方	1時間	
⑥事例研究	1時間	発表 45分＋解説・質疑 15分

#### 2日目

内容	時間	備考
<b>午前中</b> ~自社計画の立案~		
⑦演習 (自社の商品開発計画の立案)	1.5時間	④、⑤の復習をかねた解説を簡単に行った後、各自の作業。
⑧演習 (自社の商品販売促進計画の立案)	1.5時間	
<b>午後</b> ~自社計画の立案・ブラッシュアップ~		
⑨演習 (自社の商品開発計画の立案) (続き)	1時間	
⑩演習 (発表) (5事例程度)	2.5時間	発表者は講師が選ぶ。希望者がいれば優先。

### 案3 2時間×5回コース

#### 1回目

内容	時間	備考
<b>~取組の必要性の喚起・取組の全体像の解説~</b>		
①食品工業の現状・課題の解説	0.5時間	
②地域の食材を活用したビジネスを成功させるポイント	1.5時間	

#### 2回目

<b>~支援施策の紹介~</b>		
③活用可能な支援施策の紹介	1時間	
④事例研究	1時間	

#### 3回目

<b>~食品開発の進め方~</b>		
⑤地域の食材を活用した食品開発の進め方	2時間	ワークの時間も多少とる。

#### 4回目

<b>~食品の販路開拓の進め方~</b>		
⑥地域の食材を活用した食品の販路開拓の進め方	2時間	ワークの時間も多少とる。

#### 5回目

<b>~ブラッシュアップ~</b>		
⑦商品開発計画発表 (4例程度)	2時間	発表者は講師が選ぶ。(4回目終了時点で決めておくのが適当か) 希望者がいれば優先。